



京丹後市商工会だより

Kyotango City Society of Commerce & Industry



京丹後市商工会 〒627-0012 京都府京丹後市峰山町杉谷836-1
 ●TEL.0772-62-0342 ●FAX.0772-62-3553
 ●URL:https://kyotango.kyoto-fsci.or.jp

●網野支所/TEL:72-1863 ●大宮支所/TEL:68-0038
 ●丹後支所/TEL:75-2222 ●久美浜支所/TEL:82-0155
 ●弥栄支所/TEL:65-3137(火・金のみ)



2026年5月27日発行

5月号
Vol.222

中小企業持続経営支援補助金 (ステップアップ枠)のご案内



京都府と京丹後市商工会では、厳しい経営環境にある、中小企業の方々や商店街団体を対象とした「中小企業持続経営支援補助金(ステップアップ枠)」により、事業計画に基づく、経営改善等に繋がる取組に対する経費を支援します。

対象者 京丹後市内に事業所(団体)等を有する中小企業等及び商店街団体

受付期間・事業実施期間・補助対象事業等

中小企業応援隊の伴走支援により、経営安定と成長に向けた事業計画に基づき中小企業等が実施する業務改善等やイノベーションに繋がる工夫を凝らした取組、商店街団体が実施する売上向上を目指す取組



京丹後市商工会HP

【具体例】

- 経営改善計画遂行に向けた取組、商品の販売促進の取組に係る経費など
- 省エネルギー対策等のコストダウン対策に関する経費
- 固定客を生み出すような商店街の実施するイベント経費など
- サイバーセキュリティ対策に関する経費
- その他、事業趣旨に合致した取組で、中小企業応援隊が必要と判断したもの

各期間	開始	終了
受付期間	令和8年6月1日(月)	令和8年6月17日(水)
事業実施期間	令和8年4月1日(水)	令和9年1月31日(日)
実績報告書提出期間	事業終了から14日以内(最終:令和9年2月4日(木))	

対象外

- ・当取組(事業)の交付決定前に終了した取組(事業)
- ・同一取組(事業)について、国や府等の公的な補助金、助成金等の交付を受けている場合、又は受けることが決まっている場合

補助率・補助上限

※別途専門家派遣も可能

項目	対象	補助率	補助上限
(1)経営改善型	中小企業等 小規模企業※	3分の2	200,000円
	中小企業(小規模企業除く)※	2分の1	300,000円
	中小企業を構成員とする団体等※ 商店街団体	3分の2	200,000円
(2)起業支援型	創業予定者、中小企業等	3分の2	200,000円

その他

中小企業等、商店街団体等の範囲、補助対象の具体例の詳細はHP等でご確認ください。

提出先

中小企業応援隊員を経由して
京丹後市商工会へ提出

◎問合せ先

京丹後市商工会 本支所まで

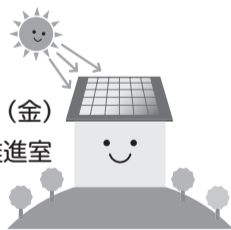
太陽光発電設備や蓄電池等の設置に補助金をご活用いただけます

京丹後市では、地球温暖化の原因である二酸化炭素の排出量を削減し、脱炭素社会を実現するために、所有する建物等において太陽光発電設備や蓄電池等の設置を検討されている方へ補助金を交付します。

この補助金は、国の交付金事業(環境省「地域脱炭素移行・再エネ推進交付金(重点対策加速化事業)」)等を活用して行うものです。

ぜひご活用ください。

- 対象者** 市民及び市内の事業者
- 申請受付期間** 令和8年4月20日(月)～令和9年1月8日(金)
- 申請先** 京丹後市役所生活環境課ゼロカーボン推進室
- 実績報告提出期限** 令和9年2月12日(金)



○補助金制度の内容

補助対象事業	補助金額
①太陽光発電設備の設置	個人:7万円/kW(上限70万円) 事業者:5万円/kW(上限500万円)
②蓄電池	補助対象経費の1/3以内の額 上限:次の蓄電池の1kWh当たりの価格の1/3の額 家庭用:15万5千円、業務用:19万円 ※①の太陽光発電設備の付帯設備に限る。
③太陽光発電設備の単体設置又は太陽光発電設備・蓄電池の同時設置(専用住宅・余剰売電型)	○太陽光発電設備の単体設置 1万円/kW(上限10万円) ○太陽光発電設備・蓄電池の同時設置 以下の合計額 市補助(太陽光):1万円/kW(上限10万円) 府補助(太陽光):1万円/kW(上限4万円) 府補助(蓄電池):1万円/kWh(上限5万円)
④既存住宅の断熱改修	補助対象経費の1/3以内の額 上限:(戸建)1戸当たり120万円 (内、玄関ドア5万円)

○その他▶▶ 補助金の申請には、設備等の要件等を満たす必要があります。詳しくは、申請のご案内(https://www.city.kyotango.lg.jp/top/soshiki/shiminkankyo/seikatsukankyo/3/4/2/22440.html)をご確認ください。

○お問合せ先▶▶ 京丹後市役所生活環境課ゼロカーボン推進室 TEL0772-69-0240

日本一のかわらぶき職人が誕生 —地域の技を未来へつなぐ—

【弥栄町】有限会社セラム 道家啓至さん



弥栄町で瓦工事業を営む(有)セラムの職人 道家啓至さんが、第33回技能グランプリの「かわらぶき」部門において、最高賞である厚生労働大臣賞に輝いた。技能グランプリは、1級技能士らが30職種それぞれで日本一の座をかけて技術を競う大会。かわらぶき部門では、屋根の機能性や美観に加え、施工手順や安全作業なども採点対象となる。道家さんは、地域予選を勝ち抜いた7名の中で最高得点を記録し、栄冠を手にした。

道家さんは、京都市内の瓦工事業者にて、寺院や文化財などの施工に携わりながら修行を重ねてきた。もともとは家業を継ぐ意思があっただけではなかったが、完成した建物の美しさや瓦の魅力に惹かれ、次第に学ぶ意欲が高まっていったという。

グランプリ出場のきっかけは、幼い頃に父が出場した大会に同行した記憶や、前職で出場者が身近にいたことにある。「いつかは自分も」と思い続ける中、知人の出場を機に挑戦を決意した。練習期間は約2か月。年末年始も休まず取り組み、まずは独力で瓦を葺き、その後、出場経験のある社長や職人の助言を受けながら技術を磨いた。「道具による寸法確認ができず、感覚をつかむことに苦労した」と振り返るが、反復練習を重ねたことで、本番は自信を持って臨むことができた。当日は練習時と異なる条件にも、積み重ねた経験により柔軟に対応してみせた。

日本一となった現在も「特別な変化はない」と静かに語るが、その言葉からは、仕事への誠実な姿勢と、「日本一の名に恥じないよう、より一層気を引き締めて取り組みたい」と決意がにじんでいた。

教えられたことだけでは成り立たない。外の世界を知ることも大切

京都市内での修行で積み上げられた経験と視野の広さは、まさに今、家業を継ぐ立場として生かされようとしている。瓦を葺き上げる度に「その時々経験や思いがよみがえる」と語る道家さんにとって、職人としての歩みそのものが地域の屋根を守る力となっている。人手不足や後継者難が地域共通の課題となる中、日本一の技術と外の世界で磨かれた感性を持つ若き後継者の存在は、(有)セラムだけでなく、地域の産業・伝統技術の未来にとって大きな希望と言える。

「人に感謝される仕事を続けていきたい。信頼される施工を積み重ねていければ」道家さんのその言葉は、職人として誇りと地域への真摯な思いそのものだ。

DX推進による技術継承と生産性向上の取組

【大宮町 養父織物】



西陣織の帯を製造している、大宮町の養父織物では、人材育成や生産性向上に向けたDX推進の一環として、AIやデジタル技術の活用に積極的に取り組んでいる。

その取り組みの一つとして導入したのが、京都市産業技術研究所が研究しているカメラシステムである。織物の表面を写す鏡を撮影し、傷の検知を行うもので、実証実験として1台を織機に取り付けている。現在は光の反射や糸の太さなども検知してしまうため精度向上の段階にあり、傷の画像を研究所へ送信しながらAIに学習させている。現時点では完全自動化には至っていないものの、人の目による確認を補助し、傷を視認しやすくする役割を果たしている。

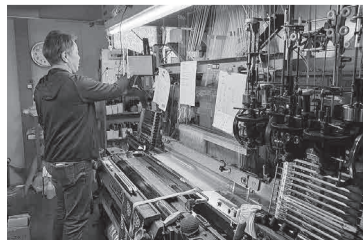
このシステムは、関係団体と連携して設立した「織物未来共創ラボ」の枠組みを通じて導入されたものであり、他事業所も同グループに参画することで導入が可能となる。導入費用は各事業所の負担としている。

また、同社独自の取り組みとして、Googleが提供するAI「NotebookLM」を導入。指定資料をもとに回答する特性から誤情報が少なく、社内文書の検索や知見の蓄積に活用している。ベテランの指導内容やミーティング記録を蓄積し、若手が必要なときに参照できる仕組みを整備した。暗黙知の形式化によって技術継承の効率化が進んでいる一方で、経験の言語化は引き続きの課題となっている。

さらに、織機にタブレット端末を設置し、仕様書や紋図、指図書をクラウドで管理・閲覧できるようにした。紙資料のデジタル化により、作業中でもその場で確認が可能となり、書類を探す手間の削減と生産性向上につながっている。取引先とのデータ共有も進み、リアルタイムでの確認や修正が可能となったことで、やり取りの効率化も実現した。

人材育成においては、従業員13名のうち20代が4名を占めるなど、若手の育成にも力を入れている。未経験者の採用にも積極的で、特に子育て世代の女性が働きやすい環境整備を推進している。休暇制度の見直しにより、有休取得理由の申告を不要としたほか、従来の個人単位からチーム制へ移行。チーム内に必ずベテランを配置し、互いに補

完しながら製品を完成させる体制を整えた。今後は、環境データの活用を見据える。織物にとって重要な湿度に着目し、湿度計の導入により、その日の環境に応じた調整方法や注意点を即時に確認できる仕組みが実現すればと構想を語る。また、傷の検知・防止・対処の効率化を進めることで、織り手が本来の作業に集中できる環境を整え、1人あたりの稼働織機数の増加にもつなげたい考えだ。



社会保険「130万円の壁」



新ルール事務手続き研修会

2026年4月1日から、社会保険の被扶養者認定（いわゆる「130万円の壁」）の判定基準が大きく変わりました。従来は「今後1年間の収入見込み」を過去実績などから総合判断していたところ、新ルールでは「労働契約書または労働条件通知書の記載内容」を基準とする方式へ転換されました。この改正はパート・アルバイト従業員の「就業調整（働き控え）」を解消し、人手不足に悩む事業者にとって労働力確保の好機となる一方、対応を誤ると従業員が思わぬ不利益を被る可能性もあります。

セミナー内容

- 新ルールの核心：労働契約書・労働条件通知書に年間130万円以内の契約であることが明記されていれば実績が超えても扶養継続可能
- 残業代（時間外賃金）は、契約に規定がない限り年収見込みに含めなくてよい
- 通勤手当は全額を年収に含める（所得税の非課税扱いとは異なる）
- 事業者が今すぐ取り組むべき3点：①労働条件通知書の再点検・整備
②労働条件変更時の確認徹底 ③従業員への正確な周知
- 今後の「特定事業所の拡大」について
- 社会保険適用時の「助成金」の活用について



申込はこちら→

日時 令和8年6月4日(木) 14:00～16:00 (会場13:30～)

会場 KISSUIEN Stay&Food 1階会議室

講師 村橋 大介氏 (ハーモニア社会保険労務士事務所)

◆定員/20名 ◆申込/5月29日(金)までにQRコードよりお申込みください。

■問合せ先/京丹後市商工会 経営支援課 TEL.0772-62-0342

令和8年度

「織物・機械金属等巡回支援事業」のお知らせ

京都府織物・機械金属振興センターでは、製織時のトラブル対応、オーバーホールのやり方、食品の衛生管理などの、日々の業務の中で生じる技術的な困りごとについて、専門家が現場を一緒に見ながら課題整理や改善に向けたアドバイスを行う「巡回支援事業」を実施しています。

小さな困りごとや、漠然とした相談でも構いません。支援は無料です。まずはお気軽にお問い合わせください。



- 事業期間：令和7年4月17日(金)から令和9年3月19日(金)まで
- 対象者：丹後地域（宮津市、京丹後市、伊根町、与謝野町）内に生産現場において、織物、機械金属またはその他の製造業を行っている中小企業等
- 手数料：無料
- 問い合わせ先：京都府織物・機械金属振興センター 企画連携課
TEL:0772-62-7401
- ◎詳しくは下記ホームページをご覧ください。
<https://www.pref.kyoto.jp/oriki/280517junkaishien.html>

青年部通信



若手事業者募集中!

申込・詳細は京丹後市商工会
青年部事務局まで
TEL.0772-62-0342

第20回通常総会を開催しました

令和8年4月17日(金) KISSUIEN Stay & Foodにおきまして、7名の来賓にご臨席賜り、本人出席36名・委任出席21名の合計57名にて青年部第20回通常総会を開催し、提出された議案は全て承認可決されました。



承認された議案は下記のとおりです。

- 第1号議案 令和7年度事業報告並びに収支決算承認の件
- 第2号議案 令和8年度会費賦課額並びに徴収方法決定の件
- 第3号議案 令和8年度事業計画並びに収支予算決定の件

令和8年度も青年部員で協力し合いながら頑張っていこうと思っております!! 懇親会ではこれまで青年部を支えてくれた先輩たちの卒業式が行われました。これまでの青年部活動お疲れさまでした。そして、長い間本当にありがとうございました。



経営発達
支援計画

令和8年度 伴走型小規模事業支援推進事業

地域経済動向調査「D.I」報告

	3月	4月	前月比	前年同月値	3月	4月	前月比	前年同月値
業種	産業全体				織物業			
売上高	▲5.0	1.0	6.0	▲22.0	7.1	7.1	0.0	▲28.6
採算	▲12.0	▲21.0	-9.0	▲38.0	▲14.3	▲50.0	-35.7	▲35.7
資金繰り	▲12.0	▲13.0	-1.0	▲18.0	▲14.3	▲35.7	-21.4	▲28.6
業界予測	▲32.0	▲41.0	-9.0	▲41.0	▲71.4	▲71.4	0.0	▲78.6
業種	機械金属業				工業			
売上高	▲7.1	0.0	7.1	▲42.9	7.1	0.0	-7.1	▲7.1
採算	▲7.1	▲21.4	-14.3	▲64.3	7.1	▲28.6	-35.7	▲21.4
資金繰り	▲28.6	▲7.1	21.4	▲7.1	0.0	0.0	0.0	14.3
業界予測	▲50.0	▲57.1	-7.1	▲85.7	▲14.3	▲35.7	-21.4	0.0
業種	建設業				商業			
売上高	▲6.7	6.7	13.3	▲6.7	▲35.7	▲28.6	7.1	▲50.0
採算	▲20.0	6.7	26.7	▲13.3	▲21.4	▲42.9	-21.4	▲35.7
資金繰り	▲6.7	6.7	13.3	▲20.0	▲28.6	▲50.0	-21.4	▲35.7
業界予測	▲33.3	▲20.0	13.3	▲13.3	▲28.6	▲57.1	-28.6	▲42.9
業種	観光業				サービス業			
売上高	14.3	▲7.1	-21.4	▲35.7	▲13.3	26.7	40.0	13.3
採算	▲14.3	▲7.1	7.1	▲50.0	▲13.3	▲6.7	6.7	▲46.7
資金繰り	0.0	▲7.1	-7.1	▲35.7	▲6.7	0.0	6.7	▲13.3
業界予測	▲14.3	▲35.7	-21.4	▲50.0	▲13.3	▲13.3	0.0	▲20.0

◎市内事業所(約100社程度)をヒアリングした景気動向結果を指標化し、「DI」値としています。

連載ストーリー ～京丹後・親子二代の承継ストーリー～

「社長、本当に間に合いますか？」

第2話

後継者はいるのに進まない理由 親子のすれ違い

翌朝、黒田義一はいつも通り現場に立っていたが、頭の中では昨夜の知らせが離れなかった。68歳で急逝した近所の社長。工場が止まり、家族も社員も対応に追われたという話が耳に残っている。ふと視線を向けると、旋盤の前で直樹が黙々と加工をしていた。腕は確かだ。だが、経営は何も教えていない。昼休み、思い切って声をかけた。



「直樹、帳面とか見てみるか？」

息子は少し驚いた顔をして答えた。「いや、まだええわ。親父おるし」その言葉に義一はうなずいたが、胸の奥に引っかかりが残る。任せていないのは自分なのに、任せなくても大丈夫だと思われている現実。夜、自宅で妻にぼつりと言った。

「直樹、継ぐ気あるんやろか」

妻は即答した。「あるに決まってるやん。あんたが何も言わへんだけや」言葉に詰まった。継がせるつもりはある。だが、どう話を切り出せばいいのか分からない。親子だからこそ、改まった話ができない。継がす覚悟とは何だろう。肩書を渡すことか。いや違う。判断も責任も失敗も渡すことだ。では継ぐ覚悟とは。社長になることか。違う。会社を背負うことだ。そう考えて、義一はふと立ち止まった。背負う重さばかりを見せてしまえば、前に進もうとする気持ちはしぼんでしまうのではないか。覚悟とは重さを知ることだけではなく、進む理由を持つことでもあるはずだ。直樹にとって、その理由を自分は示しているのだろうか。そんな思いが頭の中を巡っていた、そのときだった。スマホに一通の通知が届いた。銀行からの面談依頼だった。題名は「代表者変更時の手続きについて」。義一は画面を見つめたまま、静かに息を吐いた。先に覚悟を決めるのは、親の方かもしれない。

(京都府事業承継・引継ぎ支援センター 統括責任者 梅原克彦)

女性部だより

女性部員募集中

私達と共に、女性部の活動に参加しませんか?
商工会女性部事務局 TEL.62-0342

支部事業報告 ～峰山支部～

4月12日(日) 峰山地区河川整備等まちづくり促進協議会の呼びかけによる「鯉のぼりの飾り付け」作業が、小西川沿いのゆめサンサンロードで行われ、3名がボランティアとして参加しました。



当日は、雑草除去と鯉のぼりの取り付けを行いました。ゆめサンサンロードの景観保護に取り組むとともに、地域の子どもの健やかな成長を願い、大きな鯉のぼりを飾りました。ゆめサンサンロードを利用される方々に、季節を感じながら楽しんでいただけるような活動ができました。

今後の予定：日帰り研修(7月上旬)
健康増進事業(7月下旬)

